



各 位

会 社 名	フ タ バ 産 業 株 式 会 社
代 表 者 名	取 締 役 社 長 小 塚 逸 夫
コ ー ド 番 号	7 2 4 1 東 証 ・ 名 証 第 1 部
お 問 合 せ 先	常 務 取 締 役 市 川 康 夫 (TEL 0564-31-2211)

過年度決算訂正の可能性に関するお知らせ

当社は、平成 20 年 9 月末に、当社の会計監査人であるあずさ監査法人から、当社の金型・設備に関連する仕掛品及び建設仮勘定の会計処理を再調査し、過年度に亘る訂正が必要な場合は過年度決算訂正を行ってほしいとの要請があり、直ちに社内調査委員会を立上げ、事実確認したところ、過年度の決算について修正が必要と思われる会計処理が見つかりました。引続き社内調査を進めているところですが、現時点で判明している原因及び影響額（概算）について下記のとおりお知らせいたします。

内容が確定次第、適正な開示を行う所存です。

株主・投資家の皆様、お取引先の皆様、市場関係者の皆様をはじめ、多くのステークホルダーの皆様には、多大なご迷惑とご心配をおかけすることとなり、ここに深くお詫び申し上げます。

記

1. 原因

当社は、自動車部品の製造・販売を主たる業務とし、また、カーメーカー及び当社グループ会社向けに金型・設備の製造・販売も行っております。

自動車産業は急拡大してきましたが、かつその内容面では極めて高い生産技術レベルを求められてまいりました。こうした質・量にわたり増加する要請に、当社の金型・設備製造部門は精一杯応えてまいりました。しかしながら、会計処理量の増加に伴い、会計処理の前提となる情報の伝達やチェックに齟齬を来したことから、仕掛品及び建設仮勘定において振替処理の遅れ・漏れが発生し、修正が必要と思われる会計処理につながったと考えられます。

2. 影響額

現在、過年度決算の修正すべき内容及び金額等について確定作業を行っているところであり、その完了を待たねばなりません。その影響の概算額（あくまで現時点における予想額）は以下のとおり予測されます。

[連結経常利益の影響額]

	訂正前	訂正後	訂正額
平成 18 年 3 月期	194 億円	144 億円	△50 億円
平成 19 年 3 月期	234 億円	164 億円	△70 億円
平成 20 年 3 月期	248 億円	123 億円	△125 億円

なお、確定数値につきましては、平成 20 年 11 月中旬に予定されております平成 21 年 3 月期第 2 四半期決算短信発表までにお知らせできるよう、確定作業に全力を傾注する所存であります。

3. 今後の対応について

(1) 過年度決算訂正の開示

当社は、引続き内部調査を進め、速やかに過年度決算訂正の開示を行う予定であります。なお、上記の影響額は現時点における概算であり、今後の調査や会計監査の結果、訂正期間を含め変更となる可能性があります。

(2) 再発防止について

当社は、再発防止の手立てを取り始めておりますが、外部の第三者のアドバイスを受けるなどして、速やかに再発防止のための体制を確立する所存であります。

(3) 今期決算への影響について

本件訂正は、当期決算の大勢に影響を与えない見通しであります。

ご承知のとおり、自動車業界の生産減少の影響を当社グループも受けており、当期連結業績予想につきましては、平成 20 年 11 月中旬に予定されております平成 21 年 3 月期第 2 四半期決算短信発表までにお知らせする予定であります。

以上